

支部だより

～中国四国支部，平成 25，26 年度の活動～

松浦宏治

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

支部設立時からの 6 年間

中国四国支部が平成 20 年に設立されてから 6 年経過しました。現在の主な活動として、毎年 4～6 月の土曜日曜日 2 日間で支部大会を開催しております。これまでの支部大会は全て 1 会場での口頭発表です。分野外の方にも自分の研究を簡潔に説明し、質疑応答を活性化させ、かつ本質を突いたコメントを貰うためにこのような形式を採用しています。平成 25，26 年度もこれまでと同様のスタイルで支部大会を開催致しました。幸い天候に恵まれて、両年度とも晴れやかな状況で支部大会を迎えました。

平成 25 年度の活動

第 5 回中国四国支部大会は平成 25 年 5 月 25，26 日

に直島（香川県直島琴弾地）のベネッセハウスで開かれました（実行委員長：岡山大学 成瀬恵治先生）。学生を含む研究者間の交流を盛んにするために合宿形式を初めて採用しました。プログラムは計測技術に関するワークショップを含む計 31 件の口演、曾我部正博先生（名古屋大学）の「細胞力覚の多様性とアクチン骨格関係」というタイトルでの基調講演、真夜中まで続く懇親会で構成されました。合宿形式であるために懇親会のボリュームを増やすことができ、懇親会二次会では 2 つの特別講演と成瀬大会長によるギター演奏が行われました。ホークビジョン株式会社の森裕様は線虫を顕微鏡の視野内に常に見えている状態にするためのビジュアルサーボステージ技術に関してご紹介されました。また、香川弘昭先生（元岡山大学）には「ダウラギリ眺望とネパールの学校との交流」というタイトルでご講演頂きました。支部大会開催地では、瀬戸内海のリゾート地でモネの絵画が展示されている地中美術館や独創的なオブジェといったアートに触れることもでき、懇親会でのワインやフォアグラ井といった豪華な料理も堪能しました。日常を忘れるには非常によい環境だったと言えます。

学術的な面につきましては、生物物理学会らしく分子から個体を研究対象としており内容は多岐に亘っていました。中国四国地域からだけではなく、神戸大学から森垣憲一先生をはじめとして、神戸や播磨といった周辺地域所属の先生方にもご参加・ご発表頂きました。



平成 25 年 5 月 25 日，直島での第 5 回支部大会での集合写真



平成 26 年 5 月 17 日，鳥取での第 6 回支部大会での集合写真

平成 26 年度の活動

第 6 回中国四国支部大会は平成 26 年 5 月 17, 18 日に鳥取市内（鳥取県鳥取）のとりぎん文化会館（実行委員長：鳥取大学 永野真吾先生）で行われました。例年のように口頭発表 1 会場で，31 件の発表，広島県立大学を平成 26 年 3 月に退職されました相沢慎一先生の特別講演「研究の光と影」がありました。相沢先生はバクテリアのべん毛について学生時代から研究を続けられています。べん毛の根元の「フック」と呼ばれる短い管状ナノ構造体についての他グループとの丁々発止とした議論に関する内容が印象深かったです。昨年度とは異なり和食を前にしての懇親会となりました。第 5 回支部大会はイベントが充実していたのに対し，第 6 回支部大会では合宿形式ではなかったためか，過去の支部大会のようなアカデミックな雰囲気を感じました。

今回は初めて口頭発表と同時にポスター発表を導入する試みがなされました。10 分程度の口頭発表だけでは内容の詳細が伝わらないことがあり，概要を把握した後にゆっくり議論するためにポスター発表の機会を設けました。研究分野については前回よりは蛋白質等の分子科学に関する演題が増えていました。兵庫県

立大学ご所属の先生・学生さん方から 8 件の演題を今回は頂きました。中国四国支部以外からの参加者が増えていることから，本支部も全国的に認知されはじめていると思われます。

平成 27 年度以降の計画

本支部では 2 年おきに支部長を交代することになりました。現支部長，篠原康雄先生（徳島大学）は今年度で退任予定ですので，27, 28 年度支部長に楯真一先生（広島大学）にお願いしました。

今年度までに各都道府県で 1 度は支部大会を開催する計画でした。適当な担当者が見つかりませんでしたのでまだ島根では開催できておりませんが，島根での開催を今後の課題としつつ，2 周目に入ることとして，平成 27 年度の第 7 回支部大会は徳島で開催する予定です。また，学生の方々の発表には支部会賞を授与することになりました。中国四国地域は距離的にはかなり広く，各地域がそれぞれ異なる地理的・研究環境であるために各地で行われる当支部大会は毎回新鮮に感じられます。これからも支部大会をはじめ，中国四国支部の活動につきましてもご注目のほどよろしくお願ひ申し上げます。